

生徒指導部便り

No.6

令和5年もまもなく終了！

12月23日から冬季休業を迎えます。日常生活や学校行事も感染症による制限は、ほぼなくなりましたが、12月になってインフルエンザに感染する生徒がみられ学級閉鎖もありました。暖冬傾向とはいえ、かなり冷え込む日もあります。体調管理は十分注意をしましょう。

さて、いじめ問題への取り組み状況についてですが、令和5年度12月1日現在、本校の「いじめ認知」件数は2件、うち、「いじめ解消」件数は1件、「対応中」が1件となっています。相手への配慮、想像力が大切です。自分では、「いじめている」つもりがなくても、相手が「いじめられている」「嫌な思いをしている」ことがしばしばあります。また、「いじめ」をなくすには、周りの人の対応も重要になります。生活しやすい、学校生活を送るためにも、一人一人が、自覚を持って行動しましょう。

年末年始や冬休みは人の動きが活発になるタイミングでもあります。これまで通り感染症に充分注意しつつ、有意義な冬休みとしてください。特に年末年始はゆっくり心と体の休養をとり、新年に向けてエネルギーを充電してください。

自動車の同乗と事故について

この時期に心配な事の一つに他人の車に同乗して、事故に巻き込まれてしまうケースがあります。免許取り立ての人に誘われ軽い気持ちでドライブに出かけ、事故に遭うという事例が冬のシーズンに何件かあります。車は便利で生活を豊かにもしてくれます。しかし、大変な凶器にもなり得ます。他人を乗せるのは、他人の命を預かってハンドルを握るという自覚を忘れてはいけません。また、このような事例の多くは保護者の車をちょっと借りてという場合が多く、万が一事故が起きた際、任意保険の適用外や対人対物は保証されても同乗者は保証がないことも多いのです。その事故で後遺症が残る大ケガをしてしまったらと考えてみてください。そのため本校では基本的に保護者以外が運転する車に乗ることは禁じています。家族以外が運転する車には同乗しないよう、心掛けてください。

主な相談窓口（北海道）高校生用（令和5年12月）を添付